

## 農業者の所得増大への実践

### ◎生産資材のコスト抑制への取り組み

#### ☆みらいブランド肥料でコスト抑制へ

# 実践！ 自己改革

当JAでは、生産資材のコスト低減を図るため、当初約400品目あった肥料銘柄の絞り込みを行いました。平成22年度から地域に適した高成分で低価格の「みらいブランド肥料」(水稲用2品目、りんご用2品目)の製造・販売をスタートし、従来品に比べ約5～20%の値下げをすることができました。30年春肥からはみらいエコりんごペレットをリニューアル、また労働力軽減のため、1袋15キロタイプの取り扱いなど組合員の要望と土壌分析をもとに現在「みらいブランド肥料」は8品目を販売しています。取り扱い数量も年々増加傾向で、30年5月末現在で12万3000袋となっております。

「みらいブランド肥料」の普及推進を図り、さらなるコスト低減をめざし、農業者の所得増大へつなげていきます。

### みらいブランド肥料

#### ・平成22年度4品目でスタート



#### ・1袋15キロで労働力軽減



※30年リニューアル

#### ・組合員の要望と土壌分析をもとにした肥料



## 国産農産物を食べよう！

### ～管内直売所4カ所でキャンペーン開始～

当JAの直売所4カ所で6月1日から国産農産物を食べようキャンペーンが始まりました。道の駅ひろさきサンフェスタいしかわ、産直センターひらか、あっぷるはうす、尾上特産物直売所で開催。毎月3の付く日は産(3)直の日とし、野菜・果物の特売、ソフトクリームや菓子の割引など各直売所で趣向を凝らしたイベントを開きます。直売所共通イベントとして、毎週水曜日に「つがるロマン」10キロ1袋購入ごとにりんごカレールーを1個プレゼントします。毎週水曜日は日本酒・焼酎、毎週木曜日はワイン・ウィスキーなどのお酒の割引、土日祝日はお米の割引を行います。

購買部生活資材課直売の小山内崇課長は「食料自給率が年々低下している中、身近なところに美味しい農産物がたくさんあることをお客様に知ってほしい。そして、カレーという国民食を通じ地元のお米の美味しさを味わってほしい。また、各直売所にはその時期にしかない農産物が出荷されていたりするので、イベントを通じて是非来店してほしい」と話しました。



毎週水曜日「つがるロマン」10キロ1袋購入でりんごカレールーをプレゼント